

歯科保存学（1）A・B

【前期】4年：火3 【後期】3年：木1

松尾 敬志・中西 正・菅 俊行・寺下 正道

ここで紹介された資料は**蔵本2階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。
 (同じ本が3冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

【保存修復学】

- **保存修復学 21 第5版 / 田上順次 [ほか] 監修/阿南壽 [ほか] 編集. 永末書店, 2017**
 → 保存修復学のテキストとして最も支持されている参考書。
【497.4||Ho】
- **保存修復学, 第6版 / 千田彰ほか編. 医歯薬出版, 2013**
 → 修復学という限られた範疇に留まらず, 歯の硬組織の保存や機能回復に向けた患者・疾患管理のもとでの予防・治療・管理までを包含する「歯の硬組織治療学」の学習書となるように編纂されている。
【497.4||Ho】
- **保存修復学サイドリーダー, 第4版 / 河野善治, 平山聡司, 鈴木英明著. 学建書院, 2012**
 → 授業で学ぶ保存修復学はもちろんのこと、国家試験必須の内容も網羅した要約集。
【497.4||Ko】
- **保存修復学専門用語集 第2版 / 日本歯科保存学会編. 医歯薬出版, 2017**
 → 保存修復学関連の約1,000語についての用語解説書。
【497.4||Ho】
- **保存修復学臨床ガイド, 第2版 / 千田彰 [ほか] 編集. 医歯薬出版, 2009**
 → 保存修復学の基礎から臨床までを網羅した書。
【497.2||Ho】
- **Sturdevant's art and science of operative dentistry, 6th ed. / edited by Harald O. Heymann, Edward J. Swift, Jr., André V. Ritter. Mosby, 2012**
【497.32||St】

【歯内治療学】

- **エンドドンティクス, 第4版 / 興地隆史, 須田英明, 中村洋編集主幹 ; 阿南壽 [ほか] 編. 永末書店, 2015**
 → 基本的な手技から最新の診断・治療方法にいたるまで歯内療法全般にわたって解説した参考書。
【497.2||En】

□ **歯内治療学, 第4版/中村洋 [ほか] 編 / 中村洋 [ほか] 執筆. 医歯薬出版, 2012**

→ 歯内治療の基本的な理論と技術を簡明に解説した参考書。

【497.2||Sh】

□ **歯学生のための歯内療法学 / 加藤澁編著. 医歯薬出版, 2000**

→ 歯内療法に関する解剖、病理、診査、診断、治療法の基本的考え方を解説し、実際の診査・診断と各種治療法について記述した参考書。

【497.2||Sh】

□ **Cohen's pathways of the pulp 11th ed. / edited by Kenneth M. Hargreaves, Louis H. Berman ; web editor, Ilan Rotstein. Elsevier, 2015**

→ 提示症例数が豊富で、ワンランク上の歯内治療を目指す人には必読の書。

【497.2||Pa】

□ **臨床根管解剖：基本的知識と歯種別の臨床ポイント / 木ノ本喜史著. ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2013 (歯内療法成功への道)**

→ 多様な形態を示す根管のバリエーションをわかりやすいイラストにより歯種ごとに明示。

【497.2||Ki】

□ **写真で見る歯根と根管の形態 / 岡本治 [ほか] 著. 医歯薬出版, 1983**

→ 歯根と根管の解剖学的形態を把握しておくことは歯内治療における第一歩である。

【497.11||042】

Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ **う蝕治療ガイドライン** 【<http://www.hozon.or.jp/member/pdf/guideline/usyokuGL.pdf>】

→ MI (Minimal Intervention) の理念を基盤にエビデンスに基づいたう蝕治療指針。

□ **AIPC (非侵襲性歯髄覆罩) のガイドライン** 【<http://www.hozon.or.jp/data/whatsnew/iinkai6/250.pdf>】

→ AIPC (Atraumatic Indirect Pulp Capping) の適応症、術式、文献が書かれたガイドライン。